

就職までの流れを知ろう

高校生編

高校生の就職活動は3年生の夏から本格的にスタート。高校生への求人情報は、企業が高校へ提出する求人票を進路指導室で確認したり、学校単位で閲覧できる「高卒就職情報WEB提供サービス」から得るのが基本となります。



スケジュール例

7月初旬

求人票の公開

7月

8月

気になる会社に
職場見学に行く

9月初旬

学校を通して
1社目の応募をする

9月中旬

就職試験(選考)が
スタート

9月中旬

企業から
内定をもらう

4月

入社

アドバイス

宮崎県では、毎年7月に「応募前ジュニアワークフェア」を開催しています。これは県内企業が集まる高校生向けの「合同企業説明会」で、数多くの企業が集まるため、会社の情報を得ることができるとても良い機会となっています。

高校生用の履歴書は志望の動機を記載する欄が大きいので、職場見学をしていると、そこで感じたことや、やってみたい仕事の内容などを具体的に書いてアピールすることができます。また、面接時にも職場見学をした話でPRすることもできます。

企業によっては学校からの推薦がなければ受験できない場合もあります。そのため、平日頃から勉強に励み、遅刻もせず、しっかりとした学校生活を送りましょう。

内定後から入社日までに企業から事務手続きや課題を与えられる場合があります。学校の指導を受け、期限内に必ず提出しましょう。

総合アドバイス

高校生は就職活動の期間が短いため、自分が「どんな仕事をしたのか」、「どんな企業で働きたいのか」を見つけておくことが大切です。また、学校の先生や両親などから仕事や企業について情報を得たり、企業HPをチェックするなど、予め準備をしておくといいでしょう。



就職までの流れを知ろう

大学生編

大学生の就職活動はおおむね3年生から始める人が多数を占めます。その中で「インターンシップ」制度は、就職活動をする上で非常に有益なので上手に活用しましょう。



注意!

令和5年度からこれまでのインターンシップの取扱いが変わります。就業体験の必須や実施時期・期間など一定の基準を満たしたものをインターンシップと呼ぶことができます。

スケジュール例



アドバイス

就職活動が始まる前に自己分析をしてみることをお勧めします。第三者（就活仲間や家族など）に協力してもらい、他己分析をするのもお勧めです。また、インターンシップへの参加を考えている人は、何のために参加するのかをしっかりと考えておきましょう。

企業はインターンシップで得た情報を、令和5年度から広報活動や採用選考活動にさらに使用できるようになり、存在意義が高まっています。インターンシップの参加により企業や業界の理解が深まるので、積極的に参加しましょう。

インターンシップや会社説明会の後は、企業と自己の分析をすることが大切です。働く上で自分に欠けている要素などを見つけ、採用試験までに補っていきましょう。

複数の企業から内定が出た場合、辞退連絡をしなければなりません。タイミングが遅いと迷惑をかけるため、しっかりと自己管理を行いましょう。

総合アドバイス

1. 就活の始め方 ～自己分析から始めよう～

働きたい企業が決まってからが、就活の始まりだと思いませんか？本格的な就活に向けて、いまずぐ始められることはたくさんあります。たとえば、自分のこれまでを振り返り、「興味・関心のあること」「長所・短所に気づくこと」「将来像を考えること」など内面に向き合う自己分析は、1年生から取り組みます。まずは自己分析から始めて、書類作成や面接対策へと繋げていきましょう!!

2. スケジュール管理が大事

限られた時間のなかで効率良く就職活動を進めるために、まずは全体のスケジュールを立て、それから提出期限や面接準備など「やること!」を明確にしていきましょう。そうすることで行動に優先順位をつけやすく、管理しやすくなります。就活を意識したら、スケジュール管理をしてみましょう。